

#3 不朽不滅の中で主イエス・キリストを愛する

Bird's eye view 12/26-1/1 「不朽不滅の中で、私たちの主イエス・キリストを愛するすべての人に、恵みがありますように」(エペソ6:24) **A** 恵みは、私たちが召会生活をして、神の定められた御旨を成就し、神が彼の敵に対する問題を解決するのに必要です。 **B** 主を恵みとして享受することは、彼を愛する人たちと共にあります。 **1** エペソ1:4の愛は、神が彼の選ばれた者たちを愛する愛、また神の選ばれた者たちが神を愛する愛を指しています。 エペソ1:4 すなわち、この方は、愛の中で、御前に聖く傷のない者になるようにと、世の基が置かれる前から、キリストの中で私たちを選び。 **2** エペソ3:17によれば、私たちは愛の中に根ざし、土台づけられます。19節によれば、私たちは知識を超越したキリストの愛を知ることができます。神の耕された地として、私たちは根ざして成長する必要があります。 **3** エペソ4:15と16が啓示しているのは、私たちが愛の中で真実を固く保つこと、からだは愛の中でそれ自身を建て上げることです。 **a** これはキリストの中にある神の愛です。その愛は、私たちの中でキリストの愛となります。その愛によって、私たちはキリストと彼のからだの肢体仲間を愛します。 **b** 愛は神の内なる実質です。エペソ人への手紙の目標は、私たちを神の内なる実質の中へともたらすことです。それは私たちが神を愛として享受し、神聖な愛の甘さの中で神の臨在を享受し、それによって、私たちもキリストが行なったように他の人たちを愛するためです。 **c** 正常な召会生活のために、私たちは不朽不滅の中で主を愛する必要があります。 **1** パウロの文書における「不朽不滅」の用法によれば、この言葉はおもに、神と神の事柄を指しています。天然のものはすべて、腐敗します。しかし、神聖な命である神と、復活の中にあるすべてのものは、不朽不滅です。 **2** 不朽不滅の中で主を愛することは、新創造の中で主を愛することであって、旧創造の中で主を愛することではありません。 2コリント5:17 ですから、だれでもキリストの中にあるなら、その人は新創造です。古いものは過ぎ去りました。見よ、それらは新しくなりました。 ガラテヤ6:15 割礼も無割礼も重要ではありません。重要なのはただ新創造です。 **3** 不朽不滅の中で主を愛することは、聖霊が内住している、再生され更新された霊の中で、彼を愛することです。 **4** 不朽不滅の中で主を愛することが意味するのは、エペソ人への手紙の中で啓示されている不朽不滅のすべての事柄にしたがって彼を愛することです。 **5** 主の回復の中で私たちは、三一の神、神聖な命、私たちにとってキリストが何であるか、彼が何を行なったか、そして召会に関して、エペソ人への手紙の中で啓示

されている神聖な、霊のものである、天的で、不朽不滅の事柄すべての中で、私たちの主イエス・キリストを愛する必要があります。 **II** エペソ人への手紙の最後におけるパウロの祝福は、起ころうとしていた問題をあらかじめ示しています。それは啓示録2:2~5における主の叱責によって示されているように、エペソに在る召会の愛が消滅してしまうということです。 啓2:4-5 私には、あなたを責めるべき事が一つある。あなたは初めの愛を離れてしまった。そこで、あなたはどこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初めのわざを行ないなさい。しかし、そうしないなら、私はあなたの所へ行く。そして、もしあなたが悔い改めないなら、あなたの燭台をその所から除き去る。 **A** エペソ6:24の結論の言葉は、恵みの臨在に対して一つの条件を加えています。それは不朽不滅の中で主を愛することです。これが暗示しているように見えるのは、もしエペソ人がそのような方法で主を愛さなかったなら、主の恵みはもはや彼らと共にないということです。 **B** エペソ人への手紙は、恵みと愛の関係を強調しています。これが示しているのは、私たちが恵みを継続的に受け、享受したいなら、愛という一つの条件を満たす必要があるということです。 エペソ4:2 謙虚と柔和を尽くし、辛抱強さをもって、愛の中で互いに担い合いつつ。 15-16 むしろ、愛の中で真実を固く保って私たちはすべての事で、彼すなわちかしらであるキリストの中へと成長し込むのです。この方から、からだ全体は、その豊富な供給のあらゆる節々を通して、またそれぞれの部分の度量に応じた活動を通して、結合され組み合わせられ、からだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至るのです。 **C** エペソに在る召会は、主を愛する事柄において失敗しました。そのような失敗が、各時代の召会の失敗の主要な理由となりました。 **III** エペソ人への手紙における召会の啓示には二つの主要な面があります。第一の面は、キリストのからだを建造する務めの働きです。第二の面は、私たちの霊的生活であり、それは多くの霊的な経験から成っており、それは私たちが、召会生活に符合する生活を行うことができるようにします。 **A** 私たちは務めの働きを行なって、キリストのからだを建造することによって、不朽不滅の中で主を愛する必要があります。 エペソ4:11-12 そして彼ご自身は、ある人たちを使徒、ある人たちを預言者、ある人たちを伝道者、ある人たちを牧する者また教える者として与えられました。それは、聖徒たちを成就して、その務めの働きへと、キリストのからだの建造へと至らせるためであり。 **1** 今日、必要とされているのは、からだの有機的な建造です。その建造は、直接かしらとしてのキリストによってではなく、あるいは賜物のある人たちによってでもなく、す

すべての肢体が成就されて、賜物のある人たちのように機能することによってです。**2**キリストのからだの建造は、以下の部類の永遠で栄光の働きを含みます。**a**私たちは、他の人たちを訪問して福音を宣べ伝え、彼らを三一の神の中へともたらし、彼らを神への犠牲としてささげる必要があります。**b**私たちは、新しい信者を家庭の集まりにおいて牧養し、彼らを養い、彼らを助けて成長させる必要があります。それによって彼らは、自分自身を生ける犠牲として神にささげることができます。**c**私たちは、小組の集会において聖徒たちを成就して、彼らに務めの働きを行なわせ、キリストのからだを有機的に建造する必要があります。**d**私たちは、聖徒たちを導いて預言させ、召会の集会の中で一人一人に神のために語らせ、召会を有機的に建造する必要があります。**3**これはキリストのからだの有機的な奉仕であり、それはまた新約の福音の祭司の体系の有機的な奉仕です。このことにおいて、私たちは使徒パウロと同じようになり、知恵を尽くして労苦し、奮闘して、キリストの中で完全に成長したすべての人を神にささげなければなりません。**B**私たちは、エペソ人への手紙の各章で明らかにされている召会生活に符合する霊的経験において、不朽不滅の中で主を愛する必要があります。**1**エペソ1章が明らかにしているのは、私たちが愛の中で、神の御前に聖く傷のない者になるようにと、キリストの中で選ばれたということです。2章が明らかにしているのは、私たちが神の傑作であり、良い働きのために、キリスト・イエスの中で創造されたということです。3章が明らかにしているのは、キリストの計り知れない豊富が私たちの享受となり、キリストが私たちの心の中にご自身のホームを造り、私たちが満たされて、神の全豊満へと至るということです。4章が明らかにしているのは、私たちが古い人を脱ぎ捨て、新しい人を着るということです。5章が明らかにしているのは、私たちが霊の中で満たされ、詩と詩歌と霊の歌とで語り合い、心から主に向かって歌い、朗詠するということです。6章が明らかにしているのは、私たちが主の中で力づけられ、神のすべての武具を身に着けるということです。**2**エペソ人への手紙におけるすべての霊的経験に対するかぎは、内なる人の中へと増強されて、支える恵みが供給されることです。**エペソ3:16-17** どうか御父が、...力をもって、彼の霊を通して、あなたがたを内なる人の中へと増強してくださいますように。またキリストが、信仰を通してあなたがたの心の中に、ご自身のホームを造ることができますように。またあなたがたが、愛の中に根ざし土台づけられ。**3**これは召会生活、復興の生活、継続的に勝利を得る生活、不朽不滅の中で主を愛する生活をするための奇跡的で正常な道です。

神戸に在る召会 交わりと報告事項

1. **宋劉劍君S(佳穂Sの母親)来日:**
12/26(月)に宋劉劍君Sが、神戸に来られ、1/18(水)まで滞在します。
滞在中の神戸での召会生活、ブレンディングが祝福されるようにお祈りください。
2. **ヤンさん夫婦送迎会、宋劉劍君S歓迎会を同時に行います:**
12/27(火)17:30-19:00@本山
3. **姉妹集会:**
10:00-30@本山
本山に集まり、集会後掃除ブレンディングを行います。本山に來れない人はZoomで参加してください。
4. **掃除BLDスケジュール:**
12/28(水)10:30-12:30@本山
12/29(木)10:30-12:30@夙川、六甲、三宮
12/30(金)15:00-17:00@魚崎
※魚崎の掃除ブレンディングには、各地区から1~2名出してください。
5. **六甲学生福音センターリニューアル集会:**
外壁工事の工期が、12/28(水)まで延長になったため、リニューアルオープン集会を1/2(月)14:00-30に変更します。
6. **ビデオ訓練スケジュール:**
基本的に近くの集会所に来て参加してください。75歳以上の高齢者、幼児以下の子供の顧みがある人は例外です。
【スケジュール】
12/29(木) 19:30-21:00 M1
12/30(金) 8:30-12:00 M2,3
12/31(土) 8:30-12:00 M4,5
1/2(月) 8:30-12:00 M6,7
1/3(火) 8:30-10:00 M8
1/3(火) 10:20-12:00 M9 Open day
1/6(金) 19:30-21:00 M10
1/7(土) 8:30-12:00 M11,12

CP1 正常な召会生活のために、天然の愛によってではなく、不朽不滅の中で主を愛する必要があります。「不朽不滅の中で、私たちの主イエス・キリストを愛するすべての人に、恵みがありますように」(エペソ

6:24) **B** 主を恵みとして享受することは、彼を愛する人たちと共にあります。1 エペソ1:4の愛は、神が彼の選ばれた者たちを愛する愛、また神の選ばれた者たちが神を愛する愛を指しています：エペソ1:4 すなわち、この方は、愛の中で、御前に聖く傷のない者になるようにと、世の基が置かれる前から、キリストの中で私たちを選び。a この愛の中で、神の選ばれた者たちは御前に聖く、傷のない者となります。

b まず、神が私たちを愛してくださいました。次に、この神聖な愛が私たちを動機づけて彼を愛し返させます。c そのような愛の状態と雰囲気の中で、私たちは神で浸透されて、神のように聖く傷のない者となります。d 正常な召会生活のために、私たちは不朽不滅の中で主を愛する必要があります。1

パウロの文書における「不朽不滅」の用法によれば、この言葉はおもに、神と神の事柄を指しています。天然のものはすべて、腐敗します。しかし、神聖な命である神と、復活の中にあるすべてのものは、不朽不滅です。2 不朽不滅の中で主を愛することは、新創造の中で主を愛することであって、旧創造の中で主を愛することではありません。2コリント5:17 ですから、だれでもキリストの中にあるなら、その人は新創造です。古いものは過ぎ去りました。見よ、それらは新しくなりました。ガラテヤ6:15 割礼も無割礼も重要ではありません。重要なのはただ新創造です。3

不朽不滅の中で主を愛することは、聖霊が内住している、再生され更新された霊の中で、彼を愛することです。4 不朽不滅の中で主を愛することが意味するのは、エペソ書の中で啓示されている不朽不滅のすべての事柄にしたがって彼を愛することです。a 私たちは、主イエスが三一の神の具体化であることにおいて、彼がからだの要素であることにおいて、彼が実際、恵み、平和、愛、光であることにおいて、彼が一人の新しい人の構成要素であることにおいて、彼を愛する必要があります。b これらの事柄はすべて、エペソ書の中で啓示され教えられている事と関係があります。それは三一の神、キリスト、彼のからだ(召会)を含んでいます。c エペソ書が語っているのは、三一の神の分与が召会を生み出すことに関してであり、キリストが召会のために何であり、何を行なったかについてであり、召会がキリストのからだであり、キリストの花嫁であり、天上でキリストと一であることについてです。d これらすべての事柄は不朽不滅です。もし私たちがこれらすべての事柄の中で主イエスを愛するなら、彼に対する私たちの愛は

不朽不滅になります。そのような愛は、天然の愛ではありません。それは復活の中にある愛であり、その愛は神の神聖な本質の中にある神ご自身です。

適用: 青少年・大学生、新人編

「不朽不滅の中で」とは、1 腐敗する天然の中ではなく、2 神聖な命と復活の中で、3 旧創造の中ではなく、4 新創造の中で、5 聖霊が内住している再生され更新された霊の中で、6 不朽不滅の事柄、すなわち、三一の神、神のエコノミーと神の分与、キリスト、召会にしたがってという意味です。私たちは、不朽不滅の中で、私たちの主イエス・キリストを愛します。

証 私は大学1年で救われてから直ぐに、主を愛しすべての集会に参加し始めました。自分でも主を愛していると思っていました。ところが、救われて2年半を過ぎた頃のある日、自分の内側に主に対する愛がなくなっていることに気付きました。私は焦り、歯磨きのチューブを絞り出すように、愛を絞り出そうとしましたが、愛は出てきませんでした。私は不安になりましたが、どうしようもないと思い、その感覚を無視していました。しばらくして、聖書を読み返し、「**私たちが愛するのは、彼がまず私たちを愛してくださったからです**」(1ヨハネ4:19)を読みました。そして、この愛が私から始まったのではないことを理解しました。更に、エペソ書のライフ・スタディの助けにより、この書で度々言及された愛は、神の愛と私の愛がミングリングした愛であることを知りました。私は祈りました、「**主よ、私の天然の存在の中にあなたに対する愛がなくても、焦る必要はありません。愛は神からであり、神の分与によって受けた神の愛が、私の愛と混ざり合い出て来ます。私の必要は、ただあなたの分与に開いて、享受するだけです。そうすれば、私は神聖な愛をもって、あなたを愛することができます**」。このように祈ることで、私は自分自身の内省やサタンからの訴えから出て来ることができました。ハレルヤ、私は弱くても、神の分与を受けて、主を不朽不滅の中で愛することができます。エペソ6:23 父なる神と主イエス・キリストから、兄弟たちに平安と、信仰を伴う愛がありますように。24 不朽不滅の中で、私たちの主イエス・キリストを愛するすべての人に、恵みがありますように。**祈り** おお主イエスよ、正常な召会生活のために、私は天然の愛によってではなく、不朽不滅の中で主を愛する必要があります。まず、神が私を愛してくださいましたことに感謝します。この神聖な愛が私たちを動機づけて、彼を愛し返すことができます。このような愛は復活の中にある愛です。私は弱くても、神の分与を受けて、主を不朽不滅の中で愛することができます。アーメン!

CP2ありのままで主に行き、主と交わり、主の愛に触れ、強められて、不朽不滅の中で主を愛する

II エペソ書の最後におけるパウロの祝福は、起ころうとしていた問題をあらかじめ示しています。それは啓示録2:2~5における主の叱責によって示されているように、エペソに在る召会の愛が消滅してしまうということです。啓2:4-5 私には、あなたを責めるべき事が一つある。あなたは初めの愛を離れてしまった。そこで、あなたはどこから落ちたかを思い出し、悔い改めて、初めのわざを行ないなさい。しかし、そうしないなら、私はあなたの所へ行く。そして、もしあなたが悔い改めないなら、あなたの燭台をその所から除き去る。C1 新約の真の務めは、常に私たちを奮い立たせて、初めの愛をもって主イエスを愛させ、私たちを強めて、単純にキリストを私たちの命の供給として享受させます。2...およそ二十六年後、使徒ヨハネがエペソに在る召会に手紙を書いた時、彼らは初めの愛を離れ、キリストに対する真の享受を失い、その結果、主の証しを失いました。III エペソ書における召会の啓示には二つの主要な面があります。第一の面は、キリストのからだを建造する務めの働きです。第二の面は、私たちの霊的生活であり、それは多くの霊的な経験から成っており、それは私たちが、召会生活に符合する生活をするようにします

A 私たちは務めの働きを行なって、キリストのからだを建造することによって、不朽不滅の中で主を愛する必要があります。1 今日、必要とされているのは、からだの有機的な建造です。その建造は、直接かしらとしてのキリストによってではなく、あるいは賜物のある人たちによってでもなく、すべての肢体が成就されて、賜物のある人たちのように機能することによってです。2a 私たちは、他の人たちを訪問して福音を宣べ伝え、彼らを三一の神の中へともたらし、彼らを神への犠牲としてささげる必要があります。b 私たちは、新しい信者を家庭の集まりにおいて牧養し、彼らを養い、彼らを助けて成長させる必要があります。それによって彼らは、自分自身を生ける犠牲として神にささげることができます。c 私たちは、小組の集会において聖徒たちを成就して、彼らに務めの働きを行なわせ、キリストのからだを有機的に建造する必要があります。d 私たちは、聖徒たちを導いて預言させ、召会の集会の中で一人一人に神のために語らせ、召会を有機的に建造する必要があります。

私たちは毎朝、奇跡的で正常な道において復興されることができ、私たちは同じ方法で、一日中、何度も何度も復興されることが出来ます。私たちは自分が罪深いと感じるなら、直ちに次のように祈るべきです、「主よ、私は罪深いです。あなたの尊い血で私のすべての罪を赦し、私を清めてください」。

直ちに、私たちは清められ、復興されます。私たちは長い期間祈る必要はなく、簡潔な言葉を主に語って、即時に復興されることが出来ます。このようにして私たちはキリストを生き、霊にしたがって歩き、あらゆる所で、どんな時にもキリストを語り、それから集会に来て、あふれ流すことができます。

適用:ビジネスパーソン、大学院生編

私たちが不朽不滅の中で主イエスを愛することは、以下の二つの実行によってです。① 神に従って、人々に福音を伝え、新人を牧養し、召会を建造する、② 召会生活、福音の宣べ伝えに符合した、日常生活を実行する。言い換えると、私たちは神に従って福音と牧養せず、霊的な生活を実行しないなら、不朽不滅の中で主を愛することはできません。主を愛することは、非常に実行的なことです。また、この二つのことを実行しないと、主に対する初めの愛を失ってしまい、キリストに対する真の享受を失い、主の証を失ってしまいます。

ビジネスパーソンは忙しい中で、初めの愛を失わないように、ありのままで主に行き、主と交わってください。そうすれば、あなたは主の愛に触れ、強められ、バイタルにされます。

感謝祭特別集会の以下のOLを読んでください。

① ある詩歌は、「私の本当の状態」(詩歌724)と言っています。これが意味するのは、私たちが自分の本当の状態のまま神に来て、自分の状態を改善したり変えたりしようとしなさいということです。私たちがこのように主を受け入れました。そしてこのようにキリストの中で歩くべきです。② 祈ることは、私たちの本当の状態のままで主に来ることです。私たちが主に来るとき、自分の内なる状態を彼の御前に置いて、自分があらゆる事柄で欠けていることを彼に告げるべきです。たとえ私たちが弱く、混乱し、悲しみ、言うことがなくても、依然として神に来ることが出来ます。私たちの内なる状態がどうであっても、私たちはそれを神にもたらしすべきです。③ 私たちは自分の状態を顧慮するのではなく、神を仰ぎ、神を見つめ、神を賛美し、神に感謝をささげ、神を礼拝し、神を呼吸することによって、神の臨在の中に入り、神と接触する必要があります。そして私たちが神の豊富を享受し、神の甘さを味わい、神を光また力として受け入れ、内側で平安で、明るく、強く、力づけられます。

祈り おお主イエスよ、自分の状態を改善したり変えたりしようせず、ただありのままの状態で行きます。自分の内側を主に開き、自分があらゆる事柄で欠けていることを主に告げます。弱く、混乱し、悲しみ、言うことがなくても、そのまま主に行きます。そうすれば、主の愛に触れ、バイタルにされ、不朽不滅の中で主を愛することができます。